



海洋理工学会平成15年度春季大会プログラム

平成15年5月15日(木)

9:30-10:50 一般講演1

- 15A1 植物プランクトンブルームに寄与する細胞内蓄積(Cell Quota)の成長制限の影響
中田喜三郎・○飯野哲治(東海大海洋)
- 15A2 アカモク藻場造成による松島湾の水質改善の検討
○畑恭子(国土環境株)、佐々木久雄・佐藤健一(宮城県)
- 15A3 浚渫土による干潟造成について(三河湾における事例)
山口良永・○赤石正廣(中部地方整備局三河港湾事務所)、山本浩・加藤英紀((財)WAVE)
中田喜三郎(東海大)、中村由行((独)港湾空港技研)鈴木輝明(愛知県水試)
風間崇宏(国土環境(株))
- 15A4 浚渫土による造成干潟への生物加入(三河湾奥部2海域における比較)
山口良永・赤石正廣(中部地方整備局三河港湾事務所)、山本浩・○加藤英紀((財)WAVE)、
中田喜三郎(東海大)中村由行((独)港湾空港技研)、鈴木輝明(愛知県水試)
風間崇宏(国土環境(株))

10:50-12:30 一般講演2

- 15A5 Application of Ecological Risk Assessment of Tributyltin in a Coastal Environment
○Linda Worland(Oz-Brij Communication), Kisaburo Nakata(Tokai Univ.)
Fumio Horiguchi(AIST)
- 15A6 東京湾におけるTBTのマガキとアサリへの無影響濃度(NOEC)
○大川 健・伊東永徳・中根 徹(SAT)、中田喜三郎(東海大)、堀口文男(産総研)
- 15A7 東京湾底質中のTBT濃度分布の現状
小川 清(海生研)、中田喜三郎(東海大)、堀口文男(産総研)
- 15A8 TBTの曝露解析とリスク評価
市川哲也・江理口知己((株)シー・ティー・アイ)、中田喜三郎(東海大)、堀口文男(産総研)
- 15A9 簡易リスク評価システムの開発
山本讓司(産総研)、桃井幹夫((株)シー・ティー・アイ)、中田喜三郎(東海大)、堀口文男(産総研)

13:15-17:00 シンポジウム「高精度衛星測位の最前線」

- 13:15-13:20
趣旨説明 西村清和(産総研)
- 13:20-14:00
S1 基調講演:衛星測位の概要と最新動向 -GPSから準天頂衛星まで- 安田明生(東京商船大学)
- 14:00-14:40
S2 StarFire, VRS(仮想基準局システム)等を用いた高精度測位技術の現状 河口星也(測位衛星技術(株))
- 15:00-15:40
S3 Pseudolite(疑似衛星), Assisted GPS等によるシームレスポジショニングの可能性
石井 真(測位衛星技術(株))
- 15:40-16:20
S4 衛星測位と測地系について 仙石 新(海上保安庁海洋情報部)
- 16:20-17:00
S5 RTK-GPSを用いた水中施工管理システムについて 増田 稔(東亜建設工業(株))

17:00 懇親会

平成15年5月16日(金)

10:00-11:40 一般講演3

- 16A1 海中での使用を想定した200W級非接触電力伝送コイルに関する検討
○國岡 真弘・佐藤 文博・松木 英敏・佐藤 忠邦(東北大院工)
- 16A2 超音波テレメリーによる漁場環境影響調査
○平岡修宜(京大院情報)、荒井修亮(京大院情報)、中村憲司(シャトー海洋調査)
坂本 亘(近大農)、三田村啓理(京大院情報)、光永 靖(近大農)、米田佳弘(大阪府)
- 16A3 北極海氷野の拡散と変形:理論と観測
○角田晋也・佐々木保徳(海洋科学技術センター)、村治能孝((株)エナジシェアリング)
Valdimir K. Pavlov(Norway極地研)
- 16A4 漂流フロートを満遍なく展開させる簡便な投入点決定法: ARGOを例として
角田晋也・○佐々木保徳(海洋科学技術センター)、中田喜三郎(東海大)
- 16A5 衛星高度計データを用いたオホーツク海表層循環の研究
○江淵直人(北大低温研)

11:40-12:30 総会

12:30-12:40 論文賞・業績賞 表彰式

13:30-17:00 海洋理工学会10周年特別セッション

「南半球周航観測(WHP再観測)航海の実現に向けての高精度観測技術」

13:30-14:00

T1 基調講演「BEAGLE2003 南半球周航観測の意義」 深澤理郎(海洋科学技術センター)

14:00-14:30

T2 CTD観測データの品質管理について

内田 裕・深澤理郎・河野 健(海洋科学技術センター)
小澤知史・駒井信晴(マリン・ワーク・ジャパン)

14:30-15:00

T3 塩分測定手法とデータ校正法について

河野 健(海洋科学技術センター)・青山道夫(気象研究所地球化学研究部)
高槻 靖(気象庁)・松本健寛(マリン・ワーク・ジャパン)

15:15-15:45

T4 栄養塩測定標準物質とそれを使った世界一周航海 -時空間変動を確実に見い出すための努力-

青山道夫(気象研究所地球化学研究部)

15:45-16:15

T5 南半球周航観測時の溶存酸素測定

渡邊修一(海洋科学技術センター)・清家隆義・宮下朋子(マリン・ワーク・ジャパン)
紀本英志(紀本電子工業)

16:15-16:45

T6 海洋地球観測船「みらい」観測ウインチについて

橋本菊夫・古田俊夫(海洋科学技術センター)

日時:平成15年5月15日(木)、16日(金)

会場:海洋科学技術センター東京連絡所セミナー室

(東京都港区西新橋1-2-9 日比谷セントラルビル10階)

お問い合わせ先:海洋理工学会事務局

〒424-8610 静岡県清水折戸3-20-1 東海大学海洋学部地球環境工学科内

電話: 0543-37-0917(千賀), FAX:0543-34-9983, E-mail: senga@scc.u-tokai.ac.jp

URL: <http://www.scc.u-tokai.ac.jp/~senga/>